

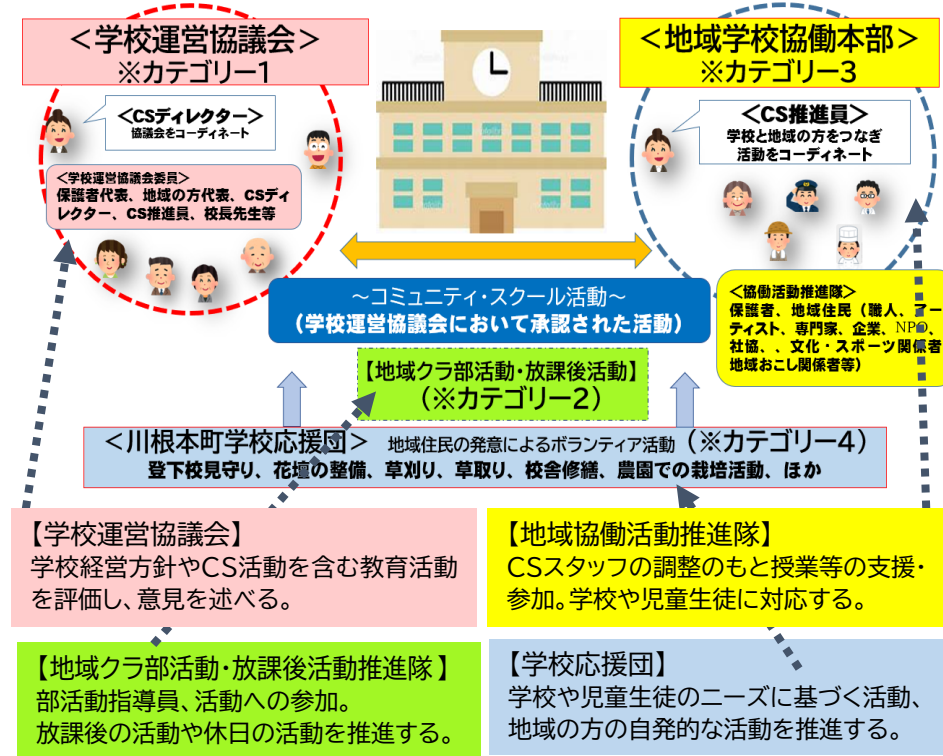
## 【川根本町型コミュニティ・スクール(CS)とは】

CSとは、学校運営協議会を設置した学校のことで、

川根本町では、令和4年度より、中学校区(義務教育学校)ごとに学校運営協議会を設置し、学校の経営方針や教育活動について意見をいただき、地域と連携・協働しながら、学校運営に取り組んでいます。

またCSのスタッフが、学校と支援して下さる地域の方をつなぎ、多くの地域の方が、授業や行事、環境整備等に参加しています。児童生徒だけでなく、一緒に関わってくださった地域の方も、みんなのウェルビーイング(「みんながここにいい」という持続的な幸せ)が実感できる活動をめざしています。

4つのカテゴリーで学校と地域との協働活動(CS活動)を推進しています。



## ～川根本町教育大綱(2024～2026)～

### 【学校教育基本目標】

- 内発的動機をもって主体的に行動し、他者とかかわり合いながら共に学びを成長していく、「自立」と「共生」が育つ学校をつくる。
- 相互に承認された自由・人権が保障され、一人一人が尊重し合い、誰一人取り残されず可能性を伸ばしていく学校をつくる。

### 【R6～8 重点施策】

- 子供の主体性と多様性を踏まえて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、未来と世界を指向し、川根本町の特色を生かした持続可能な義務教育学校を推進する。
- すべての子供たちの安全安心な生活・学び、確かな成長を支えられる教育環境を整備、充実させる。
- 未来を開く魅力ある高校教育の充実に向け、地域と協働した町ぐるみの支援及び義務教育との連携・交流を推進する。
- 教職員が高い使命感とやりがいをもって教育に打ち込める環境づくりを推進する。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
義務教育学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>★義務教育学校の基盤をつくる。教育活動の実践 工夫・改善・浸透</li> <li>★特徴的な教育活動の検討 学年制の検討・教科担任・授業の構造改革・学びの多様化・働き方、居場所づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★義務教育学校の充実</li> <li>★特徴的な義務教育学校の教育活動の発信・さらなる発展</li> </ul>	
地域協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>★義務教育学校でのCS(コミュニティ・スクール)開始 まるごとカフェ開始</li> <li>★CS活動の浸透 CS拠点づくり 学校運営協議会で熟議 学校応援団活動充実</li> <li>★地域クラブ活動検討委員会設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★CS活動の浸透 CS拠点づくり 学校運営協議会で熟議 学校応援団活動充実</li> <li>★部活動指導員すべての部活動に配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★CS活動深化・充実 学校運営協議会で熟議 学校応援団活動の充実</li> <li>★地域クラブ活動、放課後活動の本格実施</li> </ul>
教育行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>★義務教育学校下で次世代教育の推進</li> <li>★川根本町型地域クラブ活動移行説明会の実施・事務局設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★学校教育ビジョンによる次世代教育の進行管理</li> <li>★地域クラブ活動体制整備・アラウンドスクール検討・構想共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★学校教育ビジョンによる次世代教育の進行管理</li> <li>★OIDE本格実施</li> <li>★アラウンドスクール構想推進</li> </ul>

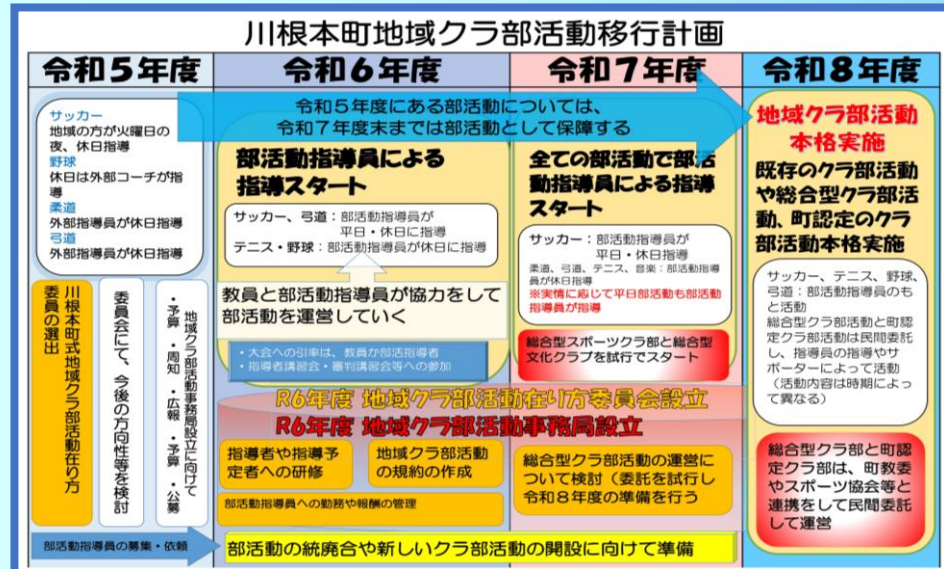
2026

## 川根本町学校教育ビジョン

～「共生」と「自立」が育つ義務教育学校・スクールコミュニティをめざして～

## 令和8年度より中学部活動は地域移行し 川根本町地域クラブ活動となります

中学校部活動を地域に移行し、中学生だけでなく若男女問わず、生涯に渡ってスポーツや文化に親しむ町づくりを目指します



- 学校クラブ活動、総合型地域クラブ活動、町認定地域クラブ活動の中から選択して活動する(任意加入)。
- 受け入れ可能な地域のクラブにも参加することもできる。
- 部活動指導員や地域クラブ指導員、サポーターに支えていただき活動を行っていく。
- 令和8年から総合型地域スポーツクラブを本格実施する。

地域の方と関わりながら、いろいろな種目や活動を経験する機会をつくる

令和8年4月  
 川根本町教育委員会



**川根本町の教育ビジョン**  
 子供(学校)も大人(地域)も、  
 北極星をめざし、未来に向っ  
 て共に進みます。

北極星

# 「地域への誇りと愛情(共生)」「豊かな才能(自立)」をもった 「未来共創人材」が育つ川根本町の共育



「0~18歳までの系統的なキャリア発達」をめざして 保育園・幼稚園・高校・関係機関をつなぐ ~シームレスな共育~

義務教育学校の基盤をつくる  
 3年目の挑戦

## 「小規模校のよさを生かした」2校の特徴のある義務教育学校に

一貫教育のプラットフォームとして役割(保育園・幼稚園・高校との接続の基盤)をもつ学校

4つの壁を乗り越える  
 「地域との壁」「学年の壁」「校種の壁」「観の壁」

- 桜保育園
- 三ツ星保育園
- 徳山聖母保育園
- さゆり幼稚園 (R8.3月現在休園中)



支援施設「ひだまり」「こもれび」  
 子育て世代包括支援センター(健康福祉課)

「架け橋期」の充実をめざして  
 授業参観・交流 研修会の実施  
 →スタートカリキュラム実施展開(R7)  
 →アプローチカリキュラム実施展開(R7)  
 →架け橋プログラム作成(R8)

### 三ツ星学園

- 学校教育目標  
 「自分・人・川根本町」が好き
- 重点目標  
 気付き 考え 行動する

○全校児童・生徒数 (R8.4月現在)  
 前期課程(1~6年生) 101名  
 後期課程(7~9年生) 71名  
 <所在地>  
 〒428-0313 静岡県榛原郡川根本町上長尾 1000番地  
 <連絡先> TEL 0547-56-0032 FAX 0547-56-2057  
 E-mail k-mitsuboshi.1@kawaneshi-do.com



【携帯サイト】

### 光の森学園

- 学校教育目標  
 「自分・人・郷土」を愛する
- 重点目標  
 「輝く自分」をつくる  
 ~自分で磨く 共に磨く~

○全校児童・生徒数 (R8.4月現在)  
 前期課程(1~6年生) 31名  
 後期課程(7~9年生) 25名  
 <所在地>  
 〒428-0411 静岡県榛原郡川根本町千頭 1236番地の6  
 <連絡先> TEL 0547-59-2026 FAX 0547-59-4051  
 E-mail k-hikarinomori.1@kawaneshi-do.com



【携帯サイト】

### 川根高校

未来を切り拓く力(自律性・人間性・探究心)を  
 備えた人材の育成

- 川根高校の学び-地域で育ち、地域から世界へ広がる学び-
- ① 出合いが広がる学校  
 ・川根留学生等、多様な仲間や価値観に触れる
- ② 学びが深まる学校  
 ・探究×地域×実社会(大学・企業との連携)
- ③ 一人ひとりが活躍できる学校・小規模の強み
- KAWANEXT-「次の出合い」が自分を変える-
- ① より魅力的な地域の高校へ  
 ・学科改善に向けたカリキュラムの再編
- ② 「挑戦」と「可能性」があふれる環境  
 ・インド ICT 研修等、成長のフィールドは無限大
- ③ 安心・安全な学びの場づくり・充実した支援体制

- ・学校設定教科『地生学』
- ・『南麓学習』(総合的な探究の時間)  
 知る(1年)、関わる(2年)、磨く(3年)
- ・地域みらい留学(県外留学)
- ・探究コンソーシアム内の高校間交流
- ・学校横断型探究プロジェクト 等

- ・連携型中高一貫教育の推進
- ・魅力化事業 授業交流
- 寄宿寮「南麓寮」  
 若者交流センター「奥流」

教育活動の推進・改善・浸透

特徴的な教育活動の検討

多様な学びの推進・選択

コミュニティ・スクールの推進

地域協働活動

学校応援団

地域クラブ部に向けての準備

居場所づくり

0歳 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18歳

★一人一人が自律した学びを身に付ける<なりたいたい自分・思いを伝えられる子>

★特徴のある義務教育学校 授業と教育課程の新たなかけ算

◎次期学習指導要領

- ▶自らの人生をかき取りできる力
- ▶教材、学習方法を選択する力、学習内容を自律的に決定する力
- ▶「好き(興味・関心)」を育み、「得意」を伸ばす

「Future Learning」「ICTの活用」  
 「学年を越えた」  
 掛け合わせる

#### 「Future Learning」

- ・委ねる ・任せる
- ・「教える」から「学びをサポートする」
- ・自己決定力、自己調整力を伸ばす
- ・個別のフィードバックとアドバイス
- ・柔軟な学習環境

「一人でもみんなでも」一人一人が主役となる学び

「町から世界へ」「世界から町へ」

#### ☆学びの構造転換×働き方改革

- ・町教育会との連携  
 →未来の学び研究会(授業創造実践部・ICT教育実践研究部)
- ・地域クラブ活動開始→放課後の時間活用
- ・「Future Learning」  
 →単元内自由進度学習(単元内に自由進度学習の時間を設定した単元計画)、ICTの活用(ミライシードの機能を効果的に活用した授業)、探究学習の推進
- ・異学年との活動、授業等の推進
- ・地域(人、もの、こと)との連携授業の拡大  
 →「総合的な学習の時間」を軸とした探究学習の充実  
 川根本町のよさを実感するカリキュラム開発
- ・ICT環境のさらなる充実(ICT支援員の継続的配置、環境整備の充実)

#### ☆学びの構造転換×発信・受信

- ・R8 町内の授業公開  
 <提案授業> 5/20(光の森学園) 5/27(三ツ星学園)  
 <研究授業> 7/ 8(光の森学園) 11/ 4(三ツ星学園)
- ・R9 町内外の授業公開
- ・外部講師とのつながり  
 細田真由美先生(元さいたま市教育長、兵庫教育大学客教授)  
 岩崎保之教授(関西大学)
- ・視察研修を実施(授業づくり、教育課程に生かす)
- ・町と世界をつなぐ 外国の交流活動  
 カナダ研修、インド研修(ZOHO ジャパン協力)  
 海外インターン生との交流

#### 誰一人取り残さない支援体制の構築

##### ☆学びの多様性×環境

- 生徒指導・特別支援教育の充実  
 ・生徒指導提要の浸透推進  
 未然防止、初期対応の強化、事後指導の徹底
- ・SC・SSW・町相談員・関係機関との連携
- ・通級指導の充実
- ・特別支援教育アドバイザー招聘:焼津市発達支援教室「じゃんけんぼん」夏目徹也先生、夏目孝子先生による支援
- 0~18歳までの系統的なキャリア教育の体制づくり  
 幼保・高校との連携強化、交流促進(研修会、共同授業等)

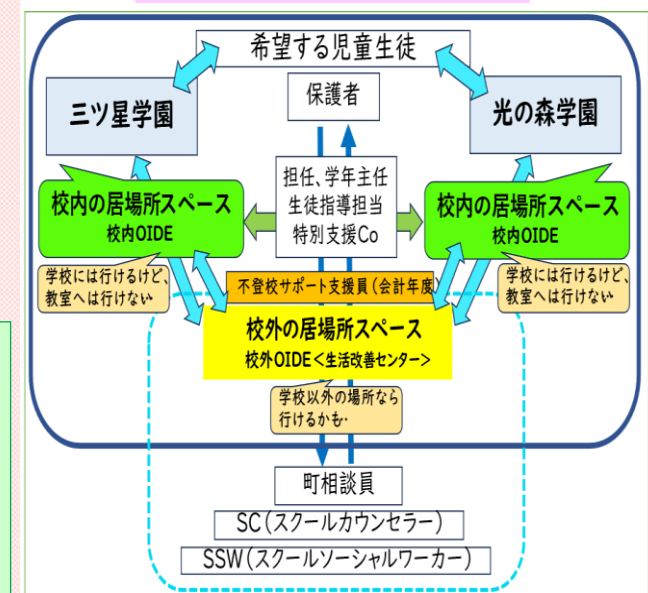
#### 地域と共に創る教育の強化

##### ☆CS, 地域クラブ活動×川根本町型

- コミュニティ・スクールの進化  
 ・学校運営協議会、地域協働活動、学校応援団、地域クラブ活動・放課後活動推進の充実
- ・CSスタッフ企画  
 (わんぱくチャレンジスクール・まるごとカフェ)の継続・拡充
- 地域クラブ部本格実施  
 ・制度設計、予算検討、地域指導者の推進、情報発信・理解の共有
- ・生涯に渡ってスポーツや文化に親しむ町づくりを目指す

#### 校内・校外の居場所づくりの設置

~誰一人取り残されない学びの保障に向けて~



・「学校」「校内 OIDE」「校外 OIDE」の3つのバランスを大切にする。  
 ・校外 OIDE を「教育支援センター的役割」を担うことができるよう体制を整えていく。